

平成29年9月15日

那須烏山市議会議長 渡辺 健 寿 様

経済建設常任委員会委員長 平塚 英 教

決算審査結果報告書

本委員会に平成29年9月8日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

- 1 審査期日 平成29年9月11日（月）及び12日（火）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 議員控室
- 3 出席委員 平塚英教、矢板清枝、久保居光一郎、高德正治、高田悦男、小森幸雄
- 4 説明のための出席者
農政課長 菊池義夫、商工観光課長 石川浩、環境課長 薄井時夫、
都市建設課長 小田倉浩、上下水道課長 佐藤光明、他関係職員
- 5 審査事項 本委員会の所管する農政課、商工観光課、環境課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会の平成28年度那須烏山市の一般会計、特別会計及び水道事業会計の歳入歳出決算
- 6 審査結果 本委員会が付託を受けた一般会計、特別会計及び水道事業会計の決算については、全会一致で原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

農政課

- ・平成30年度から新農業委員会体制に移行し、新たに農地利用最適化推進委員も選任する。そのような変革期の中で、本市農業の本格的な担い手育成と農地の集積・集約化及び377haに及ぶ遊休農地などの問題解決に向け、行政、農業関係団体及び集落営農組織等が一体となって全力を挙げて取り組まれない。
- ・地域特産品ブランド化推進による特産品づくりについては、農政課だけでなく関係各課が一体となって対策を進め、意欲ある民間団体や個人がしっかりとした実績を残せる支援体制を構築されたい。

商工観光課

- ・山あげ会館、龍門ふるさと民芸館、大金駅前観光交流施設の有効活用を図り、観光行政については、正確なデータを集め、それを分析し、市の観光行政が発展するよう対策を強化されたい。市が補助をしている組織、団体についても、例年同様の事業消化という意識ではなく、コスト意識を持って対応するよう指導されたい。また、プレミアム付き商品券事業についても、市内の産業及び経済の活性化につながるようさらに研究されたい。

環境課

- ・市民からの空き地・空き家に関する相談窓口統括が環境課となっているが、関

係各課（総務課・まちづくり課・税務課・都市建設課・商工観光課）の対応が不確定だったため、平成28年度に関係職員向けの相談対応マニュアルが作成され、統一的な対応を実施している。しかし、市は空き地・空き家の明確な実数を把握しておらず、各課それぞれで対応している状況である。総合的な空き地・空き家対策を推進する体制を整え、抜本的な措置を講じるよう進められたい。

都市建設課

- ・市営住宅 116 戸の使用料については、現年、過年度分すべて収納済みであり、担当課の努力の跡が見られ評価できる。
- ・市道等の維持管理について、路肩やのり面の草刈り等は、道路・河川愛護会等の協力のもとに行われているのが実状である（市道 404 kmの約 90%）。今後高齢化により、同様の作業が困難になると予想されるので、行政と地域住民との協働により、解決策を検討されたい。
- ・橋梁等の補修については、法令に基づき点検を実施しているが、その中で早急に措置を講ずるべき状態の橋梁があり、補修には莫大な経費を要することが想定される。有利な交付金事業等を取り入れ、市の財政負担を少しでも圧縮できるよう努められたい。

上下水道課

- ・烏山中央処理区下水道の水洗化率は、ここ数年漸増傾向にあり、担当課の普及啓発の努力の成果が見られるが、南那須処理区下水道及び興野地区農業集落排水と比較するとまだまだ水洗化率に格差がある。さらなる水洗化率の向上を図れるよう努力されたい。
- ・上水道の有収率を県内平均よりも引き上げるために、漏水問題の抜本的な対策を講じられたい。また、現在機械・電気計装設備更新計画を策定中であり、今後アセットマネジメントを作成し、さらに水道管路更新計画の策定及び水道施設基幹構造物耐震第2次診断を順次進め、老朽管更新工事は平成32年度以降に実施していくこととしている。これらの事業に加え、簡易水道の統合計画を進めながら、将来の水道事業に支障のない新水道ビジョンの策定を進められたい。